



## 高崎経済大学地域科学研究所 ニュースレター No.20

|    |                  |      |
|----|------------------|------|
| 目次 | 所長挨拶             | (1)  |
|    | 事業報告① 第39回 公開講座  | (1)  |
|    | 事業報告② 第13回 地域めぐり | (2)  |
|    | 事業報告③ 第14回 地元学講座 | (4)  |
|    | 事業報告④ 第18回 公開講演会 | (5)  |
|    | 研究プロジェクト進捗報告①    | (6)  |
|    | 研究プロジェクト進捗報告②    | (9)  |
|    | 地域科学研究所動静        | (27) |
|    | 編集後記             | (27) |

### 所長退任のごあいさつ

本ニュースレターには、第39回公開講座、第13回地域めぐり、第14回地元学講座、第18回公開講演会の各事業報告に加え、研究プロジェクト進捗報告を掲載いたしました。

私が所長を務めましたこの2年間は、コロナ禍で停滞してしまった地域科学研究所の諸事業を少しでも本来のあるべき姿へと近づけるための期間でした。それらは、当研究所が設置された2015年から3期6年にわたって所長を務められた西野寿章先生によって完成されたものです。

今後、当研究所の諸事業は、後任である佐藤徹地域政策学部教授が、さらに充実発展させてくれるものと信じております。

市民、県民のみなさまには、引き続き、地域科学研究所の諸事業にご参加いただき、生涯学習の場としてふるってご活用いただければ幸いです。みなさまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。まことにありがとうございました。

所長 高松 正毅

### 事業報告① 第39回公開講座

第39回公開講座は、前年度に引き続き、対面またはオンラインのいずれかで受講できるハイフレックス方式で別掲のとおり実施しました。受講者90名の内、62名が7回以上出席され、修

了証が手渡されました。受講生の方々は、熱心に受講され、講師には質問を積極的にされてきました。

#### 《第39回公開講座》

- ①10月19日  
山本 匡毅所員（地域政策学部教授）  
「変化する日本の航空宇宙産業」
- ②10月26日  
黒崎 龍悟所員（経済学部准教授）  
「アフリカにおける家庭用太陽光発電の可能性と課題」
- ③11月1日  
秋朝 礼恵所員（経済学部教授）  
「スウェーデン社会のこれまで、今そしてこれから」
- ④11月10日  
八木橋 慶一所員（地域政策学部教授）  
「新しい協同組合の成立とその意義－労働者協同組合について－」
- ⑤11月17日  
唐澤 達之所員（経済学部教授・副学長）  
「中近世ヨーロッパのギルド－人々の絆のかたち－」
- ⑥11月21日  
谷口 聡所員（経済学部教授）  
「民法における成年年齢18歳への引下げ」

⑦11月25日

増田 正所員（地域政策学部教授）  
「日本の選挙を考える」

⑧12月1日

福間 聡所員（地域政策学部教授）  
「倫理学における非理想理論について」

⑨12月9日

米本 清所員（地域政策学部准教授）  
「地方都市の人口と経済－コロナ禍を踏まえて－」

⑩12月16日

西野 寿章所員（地域政策学部教授）  
「地方の都市と山村を考える－中心市街地自治会と山間集落の限界化－」



<講義の様子 講師：谷口 聡 所員>



<講義の様子 講師：西野 寿章 所員>

## 事業報告② 第13回地域めぐり

そもそも本地域めぐりは、現地にまで赴き、現物を直に目にし、現場で働く人から直接お話を伺うことを、その最大の特徴としている。大学における研究は、データや情報を机上で読み解くことでも行えるが、正しい経営判断は、「自分の目で確かめ」「自分の耳で聴き」「自分の肌で感じ」「自分で考える」ことなしには行えない。

今回の地域めぐりは、浜川・行力町の企業3社を訪問し、それぞれの企業の有する特色や強みについて、各企業がたどってきた発展の歴史と現在から学び、また未来について考えるものであった。

### ・オリヒロ株式会社（食品包装機械製造）

コンニャク原料を販売する商事会社として創業し、その工程のほとんどが手作業だったコンニャクの製造機械の開発に着手した。現在は、軟包装材料を使って鮮度や味を損ねることなく長期間の常温保存が可能な「無菌充填包装システム」を開発販売している。

一方で、コンニャク粉の主成分から、独自の精製技術で蒟蒻臭の元になる不純物を除去して粘度を高め、加工しやすい原料を開発するなど、コンニャク独特の食感を活かした食品づくりにも力を入れている。



<視察の様子：オリヒロ株式会社>

・焼肉 箕輪亭 (昼食)

昼食は「増田和牛」が食べられる焼肉店 箕輪亭でとった。増田和牛とは、増田順彦氏が榛名山麓 (箕郷町) で、今ではほとんど行われていない飼育方法—通常の黒毛和牛よりも長い32ヶ月以上の長期肥育で、抗生物質等は使用せず、麦を蒸しあげた“炊き餌”をはじめ稲わら等の良質な配合飼料を与える—により大切に育てた黒毛和種の雌牛である。脂の融点が低いため、食べたあとサラリとしてもたれにくいとして高評価を得ている高崎産のブランド牛である。



・株式会社市川食品 (こんにやく食品製造)

大正14年の創業以来、「祐八こんにやく」として親しまれ、こんにやくとところてんを主体に製造販売を行っている。古くから良質なこんにやく芋の産地として知られる群馬県において、より良質な群馬県産のこんにやく原料にこだわり、伝統の技と新しい技術との融合を図りつつ地域の食文化の向上をも目指し、高品質・高付加価値の製品作りをモットーに健康的な自然食品の製品開発を行っている。

なお、その製造には、上記オリヒコ株式会社製の機械を使用している。



〈視察の様子：株式会社市川食品〉

・株式会社山岸製作所 (金属・精密機械加工)

極めて高度な「旋盤 (薄肉切削) 加工技術」により、精密機械部品の中でも、特にニードルベアリングの加工・製造を中心に行う会社である。真円率の高い製品も大得意で、真円度0.05mm以下、大きさは、直径5mmから800mmまで加工できる。その技術は、電気自動車のモーターの基幹部品や旅客機 (エアバス) の翼部品、風力発電部品、鉄道部品にはなくてはならないものである。

また、新人教育 (ヤマギシテクニカルセンター) や中堅社員の技術力アップ (匠プロジェクト) への取り組みにも目を見張るものがある。



〈視察の様子：株式会社山岸製作所〉

当地域科学研究所では、高崎市を中心とした地域の歴史や文化に関わるものばかりでなく、製造業に力のある群馬県、特に高崎市所在企業の強みをより多くの市民に知っていただきたく、今回のような企画も地域めぐりプログラムの一つとして繰り返し実施したいと考えている。

今回の地域めぐりの実施に当たっては、オリヒコ株式会社高崎工場総務部経理課長 住谷規夫様、焼肉箕輪亭オーナー 宮本守様、株式会社市川食品代表取締役社長 市川英久様、株式会社山岸製作所専務取締役 山岸祐二様、他の皆様に格別のご高配をいただいた。ここに銘記して心より感謝申し上げたい。

高松 正毅 (経済学部教授)

## 事業報告③ 第14回 地元学講座

皆さまにとって「音楽」というのはどのような存在でしょうか？

コロナ禍以来、コンサートに足を運ぶことや、みんなで一緒に合唱の練習をすること、ダンスや盆踊りなど音楽をかけながら身体を動かすことなど、あらゆることが制限され、やや「音楽」という存在が日々の生活から遠のいてしまったように感じられます。他方で、多種多様な音楽サブスクリプションサービスにより月々一定額を支払えばスマホで1億曲がいつでも聴き放題とか、オンラインチケットを買って今日はベルリン明日は上海のコンサートにリアルタイムで参加できるとか、個人で楽しむ選択肢は爆発的に増えたために、「音楽」が急に身近な存在になったような気もするので、なんだか不思議です。

このように、たった数年間で私たちの「音」の「楽」しみかたに劇的な変化が見られてきた今こそ、あらためて「音楽」という存在について、それも、「音楽のある街 高崎」にある私たちにとっての「音楽」という存在について、皆で一緒に考えてみようと、このたびの地元学講座が開催されました。

講師として貴重なお話をいただいたのは、「音楽のある街 高崎」に長年携わってこられた日本ピアノホールディング株式会社代表取締役の中森隆利社長。静岡県磐田市のご出身で、本学にて経営学を学ばれた後、1974年に楽器販売



店を起業されて以来、この地域と音楽との関わりに尽力してこられた中森社長には『「音楽のある街 高崎」～音楽・文化によるまちづくり～』と題して、お話をいただきました。



## &lt;講座の様子：中森 隆利 氏&gt;

群馬とピアノとの関係は、むか～しむかしの富岡製糸場に遡ります。一中森社長のお話は、このミステリアスな導入から。参加する私たちのワクワクした気分が高まります。

明治時代、日本近代化の夜明けの頃に、フランスから生糸技術者として招聘されたポール・ブリュナ氏とその妻エミリー。しばらく富岡製糸場の構内に居住していた夫妻が、1876年にフランスに帰国するに際して競売にかけた調度品の中に「スタインウェイ社のアップライト・ピアノ」と「プレイエル社のグランド・ピアノ」が含まれていたというのです。実は、妻エミリーは、フランスの作曲家ルフェビュル＝ヴェリーの娘であったということで、もしかしたら、この2台のピアノはルフェビュル＝ヴェリーのものだったのかもしれない。中森社長は、この歴史を日仏の各種史料から解き明かし、これらのピアノを見つけ出そうとし、あるいは史料から型番を割り出してこれに近いタイプのピアノを復元し、その音色を富岡製糸場に響かせるコンサートの開催につなげ、ひいては群馬から我が国世界遺産の魅力を発信するなど、さまざま活躍してこられました。そのお話は、起業家・まちづくりの立役者・研究者などといった職

業の分類などまったく陳腐なものと感じさせられるような、きわめてダイナミックで示唆に富んだものとなりました。

エミリーのピアノから約 150 年、2021 年に「高崎駅ピアノ」が設置され、前橋まちなかピアノ・伊勢崎駅ピアノとともに「ピアノで繋がる両毛線」ができあがり… と、コロナ禍にあっても止まるところを知らない「音楽のある街高崎」の半世紀（あるいは一世紀半！）について私たちが学んだことは、とてもこの紙面には書ききれません。いつか是非、さらに多くの皆さまと、この日の地元学講座のお話のすべてをシェアできたらと思います。

澤田 悠紀（経済学部准教授）

#### 事業報告④ 第 18 回公開講演会

2023 年 3 月 4 日（土）に開催された第 18 回公開講演会では、インプロアカデミー (<https://improacademy.jp/>) 代表であり群馬大学で非常勤講師も務められている内海隆雄氏と、群馬を中心に演劇活動を行っている団体である a/r/t/s Lab（アーツラボ, <https://artslab2018.wordpress.com/>) をお招きして、「インプロ（即興演劇）から学ぶ表現とコミュニケーション」と題してご講演いただきました。

インプロ（即興演劇）は、即興を意味する improvisation が語源となっており、台本のない中でお互いを受け入れあい表現しあいながらストーリーを生み出していくパフォーマンスのことを指します。もともと俳優訓練のために行われていたものが、舞台にしても面白いのではないかとということで舞台表現になり、一般の人にも役立つのではないかとということで学校や企業での教育・研修にも用いられるようになってきました。日本ではそれほど有名ではないかもしれませんが、海外ではインプロは広く知られており、専用の劇場を持つ劇団がいくつもあります。また、インプロを学ぶことを通じてコミュニケーションやリ

ーダーシップの能力を向上させる応用インプロとして、Google, Netflix, Pixar のような名だたる企業内で用いられていたり、大学やビジネススクールで教えられていたりもします。

インプロの基本思想には、「大人は委縮した子ども」というインプロの父と呼ばれるキース・ジョンストンの言葉があります。人は本来即興できるものであり、実際に子どもたちは自然に歌ったり踊ったり演じたりしています。しかし、大人になるにつれて評価や対立や失敗を恐れるようになり、即興（表現、コミュニケーション、チャレンジ）できなくなってしまうというものです。たしかに、日常の中では、「こんなこと言ったらどう思われるだろう?」「今発言していいタイミングかなあ」「いいねと思っているけど、違うことを言ったら傷つくかなあ」「アイデアを思いついたけれど、失敗したら嫌だからやめておこう」というような恐れが生じて、表現やコミュニケーションができないということがよくありそうです。インプロでは、「面白いことを言わなきゃ」「自分の爪痕を残さなきゃ」「うまいことやらなきゃ」といった大人の習慣になってしまっている怖くなる考え方を、インプロの体験を通して手放していきます。そして、「当たり前のことを言おう」「パートナーと一緒にやろう」「失敗してもハッピーでいよう」といった力が発揮しやすい考え方によって、既にあるものを引き出していきます。インプロの学びでは、足りないものを足すのでは



<講演の様子：講師 内海 隆雄氏>



〈アーツラボ メンバーによる実演の様子〉

なく既にあるものを引き出すという考え方を取り、うまくいかない方法を実際にやってみて学んでいくという「パラドキシカル・ティーチング(逆の教え方)」という手法を取ります。当日はa/r/t/s Labの5名のメンバーの協力によるデモンストレーションを交えながら、これらの考え方をお伝えいただきました。

最期に、インプロアカデミー、企業研修、岩手での学生演劇祭、栃木での3日間WS、インプロ漫画『プレイフル』(<https://improacademy.jp/playful/>)といった内海氏の取り組みや、a/r/t/s Labが群馬県内の、群馬大学附属小学校、育英短期大学、くらしまち財団高崎 So.ラボ、アーツ前橋などで開催しているインプロWSについて紹介してもらいました。好奇心を大事にする、違いを受け入れ面白がれる、失敗を歓迎する、といったインプロマインドあふれる社会を作り、精神的にも経済的にも豊かな社会を実現することを目指して活動しています。

若林 隆久(地域政策学部准教授)

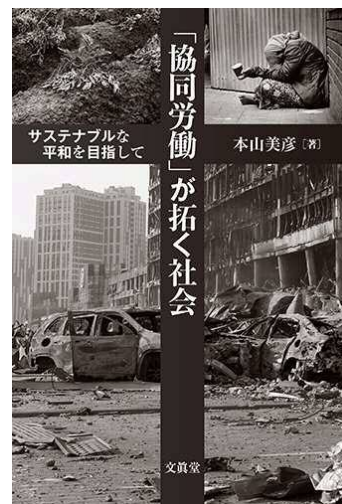
## 研究プロジェクト進捗報告①

高崎経済大学地域科学研究所の研究プロジェクト「日本における『持続可能な地域』実現の展望と課題—ガバナンスと域内経済循環の観点を中心に—」(通称 SuCoP: Sustainable Community Project)は、2年目を迎え、下記のとおり、プロジェクト・メンバー内のオンライン研究会を2回、メンバー以外の参加も募る対面式の公開講演会を4回開催しました。

### (1) 2022年7月2日(土) オンライン研究会(講師: 本山美彦氏)

まずは、京都大学名誉教授/公益社団法人国際経済労働研究所所長の本山美彦氏を講師としてお招きし、「ロシアによるウクライナ侵攻から学ぶべき課題—農業自給率を高める」と題する報告を行っていただきました。

報告の骨子は、賀川豊彦による協同組合運動を「コモン」の観点から深掘りし、現代的意義を探るというものであり、Zoomによるオンライン研究会でしたが、森林資源の活用、大都市に残る共有地の有効利用などをめぐって、講師とメンバー間で活発な議論が行われました(写真は、講演に関連する内容も盛り込まれた本山氏の最近著『「協同労働」が拓く社会—サステナブルな平和を目指して』文真堂、2023年)。



## (2) 2022年7月30日(土) オンライン研究会 (講師：杉山睦郎氏)

次に、元・FSグリーンネット社長／元・埼玉県障害者雇用総合サポートセンター企業支援アドバイザーの杉山睦郎氏を講師としてお招きし、「障害者雇用の現状と課題」と題する報告を行っていただきました。SuCoPにとっては、地域の障害者雇用も重要なテーマです。

杉山氏の報告では、雇用統計の確認から始まり、法律や支援制度の概要、埼玉モデルの意義を具体的に説明していただいたうえ、企業、支援機関、障害者自身、法制度それぞれの課題を挙げていただきました。

基調報告後、参加メンバーが活発に議論を行いました。このオンライン研究会には、障害者のグループホームを立ち上げる予定の本学卒業生も静岡県浜松市から参加し、具体的な課題について、意見が交わされました。

## (3) 2022年11月22日(火) 対面式公開講演会 (講師：加藤勝一氏)

新型コロナ禍が収まらないなか、SuCoP研究会は、2022年度もオンライン開催を余儀なくされましたが、晩秋に差しかかり、感染状況が多少落ち着きを見せ始めた頃から、対面式の公開講演会の開催に踏み切りました。

11月22日には、福島県から(株)元気アップつちゆ顧問の加藤勝一氏を講師としてお招きし、本学211教室にて「東日本大震災と原発事故からの復興再生まちづくり—土湯温泉の元気アップ」と題する公開講演会を行いました。

2011年3月の東日本大震災、福島第一原発爆発に伴う甚大な被害から、福島県の山あいにある温泉街はどのように復興を遂げたのか。観光交流センターやまちおこしセンター、新公衆浴場の整備、地熱発電事業、エビ養殖など、様々なプロジェクトを先頭に立って展開してきた加藤

氏から、並大抵ではない復興再生の軌跡を語っていただきました。

当日は、本学理事長、教員、学生のほか、ぐんまみらい信用組合役員、高崎経済大学附属高校教員・生徒、上毛新聞論説委員などにも参加いただき、質疑応答まで有意義な講演会となりました。新型コロナ禍に見舞われ、ここ3年間、学会や研究会・講演会は、どこもオンライン開催を強いられましたが、対面式の公開講演会にはやはりオンラインでは得られない効果があるようです。



<講演の様子：講師 加藤 勝一氏>

## (4) 2022年12月6日(火) 対面式公開講演会 (講師：石田正昭氏)

12月には、三重大学名誉教授／京都大学学術情報メディアセンター研究員の石田正昭氏を講師としてお招きし、「協同組合の現状と展望—持続可能な地域の実現に向けて」と題する公開講演会を行いました。

貧困や格差の拡大、気候変動の深刻化、パンデミックの周期的到来、さらには核戦争の脅威など、様々なリスクが人類の生存を脅かしかねない状況下、協同組合はどのような役割を果たせるのか。いのち・地域を未来につなぐため、協同組合には何ができるのか。長年にわたり、研究・教育・実践を通じ、協同組合を支えてこられた石田氏から、群馬県の事例も交えつつ、

協同組合の可能性と課題について語っていただきました。

この講演会でも、本学理事長・学長，教員，学生のほか，JA 群馬中央会役員，群馬県生協連役員，ぐんまみらい信用組合役員，高崎経済大学附属高校教員・生徒，JA 全中職員，県内マスコミ関係者など，幅広い参加者を得て，質疑応答まで有意義なものとなりました。



＜講演の様子：講師 石田 正昭氏＞

#### （５）2023年3月9日（木）対面式公開講演会（講師：戸所隆氏）

年が明け，3月には，立命館大学と高崎経済大学で長く研究・教育に携わってこられた高崎経済大学名誉教授の戸所隆氏をお招きし，「持続的発展をめざして50年間取り組んだアーバンデザイン—滋賀県草津市を中心に—」と題する公開講演会を行いました。

持続可能な地域社会づくりに向けて，「地域の成立要件」（安心・安全，基礎教育，雇用の確保，住民自治・参加），「都市の本質」（接近性，結節性，創造性，中心・周辺構造，地域の個性，新陳代謝性）といった「都市地理学」の基礎理論の理解をもとに，変革期において開発哲学を再構築すべきとの議論が説得的に展開されました。

講師の戸所氏には，本学教員，学生のほか，ぐんまみらい信用組合幹部職員，一般市民，高

崎経済大学附属高校生徒などを前に，ご自身が半世紀以上にわたり取り組んでこられた滋賀県草津市のアーバンデザインについて，ときに群馬県前橋市，高崎市にも言及しながら，分かりやすく説明いただきました。

#### （６）2023年3月18日（土）対面式公開講演会（講師：西野寿章氏）

そして今年度最後の公開講演会が「地域をみつめて35年—語り継ぐべき人々の生業と歴史—」と題し，SuCoPの理論的・精神的支柱である西野寿章教授の高崎経済大学退職記念講演会として行われました。

1988年4月から35年間の在職中，西野氏は「経済地理学」という狭義の専門にとどまらず，日本における町村営電気事業史，再生可能エネルギーや公共交通・都市インフラをめぐる歴史・政策に関する研究を積み重ねるとともに，群馬県産材住宅補助金制度，森林環境税など先駆的政策のアドバイザー／プラクショナーとしても活躍してこられました。

高崎経済大学地域政策学部は，今でこそ，学部定員1学年420名，専任教員約50名から構成されていますが，西野氏の献身的な尽力がなければ，そもそも日本初の学部は生まれていなかったでしょう。

全国から注目される地域科学研究所（旧・産業研究所，旧・地域政策研究センター）の各種プログラムも然りです。定期的な大学認証評価において，本学が「地域貢献」として打ち出せるコンテンツのほとんどは，西野氏が積み上げてこられたプログラムによるものです。

講演会では，農山村開発や内発的地域電化に関する長年の研究について，豊富な資料，写真に言及しながら語られました。そして，共有林，水利，堤防，地域電化事業などを通じて育まれる「共通の関心」こそがコミュニティの存立基盤であることが明らかにされました。





＜講演の様子：講師 西野 寿章氏＞

本講演会には、本学理事長、副学長、教職員、学生のほか、明治大学・日本大学・名古屋大学など他大学の教員、西野ゼミ卒業生、ぐんまみらい信用組合幹部職員、高崎経済大学附属高校教員、一般市民など、群馬県にとどまらず、全国各地から約 120 名の方々に参加いただきました。講演会後は、創業 140 年を数える高崎市の老舗割烹「魚仲」で懇親会が行われ、退職記念講演会は思い出深いフィナーレとなりました。



上記のとおり、2022 年度は前半こそ新型コロナに翻弄されたものの、後半には、今泉公彦グループリーダー、高橋史郎チームリーダーはじめ、地域科学研究所スタッフの全面的サポートのもと、対面式の公開講演会が実現し、実り多い議論ができました。

4 月からは、いよいよ本プロジェクトの最終年を迎えます。研究者に限らず、多様な参加者による対面式の研究会・講演会をベースに、オンラインでの研究会も交え、日本における「持続可能な地域」の実現に向けた課題と展望についてまとめていく所存です。

矢野 修一（経済学部教授）

### 研究プロジェクト進捗報告②

高崎商工会議所及び桐生商工会議所のご協力をいただき、対象企業 10 社を選定し、各企業を訪問、趣旨説明をおこないました。

＜対象企業 10 社＞

① IPF (株)



② (株) 笠盛



③ クシダ工業 (株)



④ 三幸機械 (株)



⑤ (株) 上備製作所



⑥ 昭和電気鋳鋼 (株)



⑦ (株) 長井精機



⑧ (株) 林製作所



⑨ (株) 町田ギヤー製作所



⑩ (株) ユタカ製作所



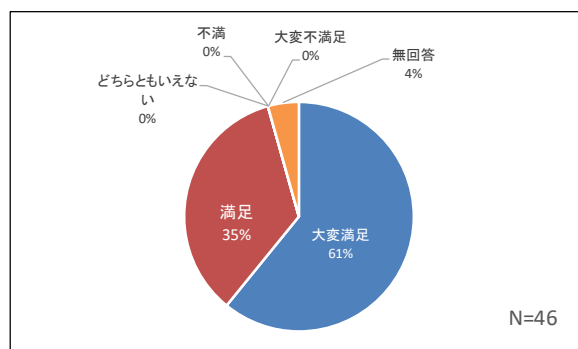
《第39回(2022年度)公開講座》

○最終回(12/16)受講後、アンケートを実施。[有効回答数:46人(回収率:83.64%)]

問1. 満足度

【単位:人】

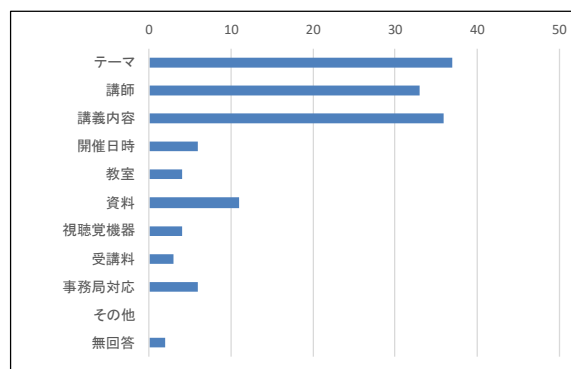
|           |    |
|-----------|----|
| 大変満足      | 28 |
| 満足        | 16 |
| どちらともいえない | 0  |
| 不満        | 0  |
| 大変不満足     | 0  |
| 無回答       | 2  |
| 合計        | 46 |



問2. 問1で「大変満足」「満足」と回答した方が評価する点(複数回答可)  
 や講師に向けての感想(自由記入)

【単位:人】

|       |    |
|-------|----|
| テーマ   | 37 |
| 講師    | 33 |
| 講義内容  | 36 |
| 開催日時  | 6  |
| 教室    | 4  |
| 資料    | 11 |
| 視聴覚機器 | 4  |
| 受講料   | 3  |
| 事務局対応 | 6  |
| その他   | 0  |
| 無回答   | 2  |



- ※ 興味深い内容でおもしろかった。
- ※ ガンバレ、先生。
- ※ ・資料を存分に用意していただきました。  
 ・身に詰まるテーマでした。話し方がすっきりしていて言いよどみがなかったです。  
 ・資料を端から端まで説明するのではなく適度に取り上げ、よどみなく解説していただきました。
- ※ おもしろい内容でしたが、問題点と解決点の時間の配分を4:6位にしては?もしくは時間を伸ばすなど。  
 大事なのは解決点であって問題点はそこそこで・・・もしくは2回に分けて講義とかはどうでしょうか。  
 1日目が問題点、2日目か解決点などでもう少し詳しく聞けたらと思います。
- ※ 調査研究は継続することが大切なのだと思います。「なぜだろう」と考えることを大事にしたいと思います。
- ※ 詳細な資料に基づいた大変わかりやすい講義は、本当に素晴らしかった。西野教授の講義をまた受けてたいです。
- ※ 身近な話題であり興味深い。データに基づく説明で説得力がある。
- ※ 大変分かりやすい講義でタメになりました。
- ※ 身近な話題でたいへん興味深く、講義を受けることが出来ました。記念になる日に感謝。
- ※ 35年間ご苦労様でした。この成果をまだまだ世の中で活かしてください。
- ※ 今回、公開講座を受講したきっかけは西野先生の講義内容に興味があったからです。小栗上野野の回でも大変お世話になりました。残り少ない観光地理学の授業もお世話になります。
- ※ 大変勉強になりました。西野先生、ありがとうございました。
- ※ シュタットベルケの本を読みたいと思いました。
- ※ 地域密着した良いテーマで大変おもしろく、課題が多い事が良くわかった。
- ※ グローバル化の功罪が理解できた。サラリーマン個人にとってのコミュニティは、会社の中だけで地域との結びつきがとても低い。高崎の町にも福岡の天神にある屋台などがあると気軽に寄れて地元の方とのコミュニケーションがとれるのではないかと考えた。
- ※ 山村と中心市街地の問題について、興味深い内容で有意義でした。
- ※ 今日が、最後の講義とは大変残念です。

- ※ 日頃、疑問に思っていたことのヒントが得られました。
- ※ 西野先生、35年間お疲れさまでした。今後の、更なるご活躍を期待しております。  
本日の講義についても、大変わかりやすく高崎市に密着した内容で大変有意義でした。
- ※ 高崎の中心地過疎化と、農山間地の共通点や欧米化による、政策の不備など歴史観点からの指摘もわかりやすかったです。
- ※ 過去の高崎の様子が学べて興味深かったです。また、西野先生の最後の公開講座に参加できて良かったです。ありがとうございました。
- ※ 地方都市のこれからについて、改めて考えるきっかけとなったため、講師にとっても節目の講義であったためか資料の量が膨大になっているので、後で読み返したい。
- ※ 地元農村や商店街の衰退をどうしたら回復できるのか日頃興味を持っているので大変面白かった。しかし時間が足りずもっとお聞きしたい。  
中心部にマンション乱立しているが将来が案じられる。駅付近のみ栄え、2キロも離れた文化会館辺りは商店もなく、無料タクシーも通らず、取り残されて生活が不便な人々もいる。誰もが車を運転できるわけではない。  
まちづくりを真剣に取り組む必要性をいっそう思った。先生の助言が必要とも思った。
- ※ 今期シーズン中、最も興味深い講義を頂きありがとうございました。

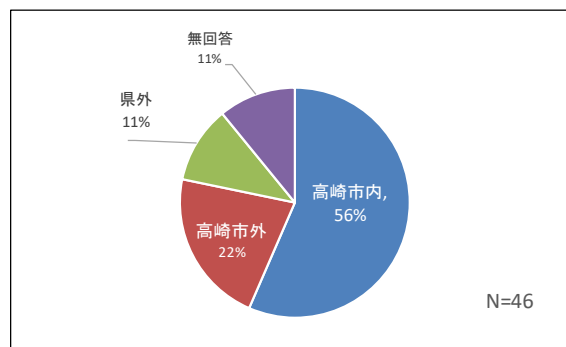
問3. 問1で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」と回答した方が指摘される点  
(自由記入)

※ 該当なし

問4. 通学・通勤・所属先の地域

【単位:人】

|      |    |
|------|----|
| 高崎市内 | 26 |
| 高崎市外 | 10 |
| 県外   | 5  |
| 無回答  | 5  |
| 合計   | 46 |

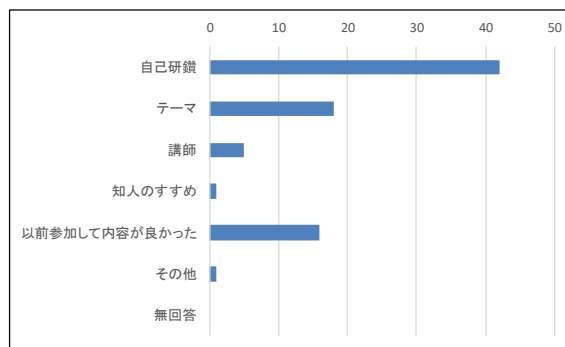


問5. 受講の理由 (複数回答可)

【単位:人】

|               |    |
|---------------|----|
| 自己研鑽          | 42 |
| テーマ           | 18 |
| 講師            | 5  |
| 知人のすすめ        | 1  |
| 以前参加して内容が良かった | 16 |
| その他           | 1  |
| 無回答           | 0  |

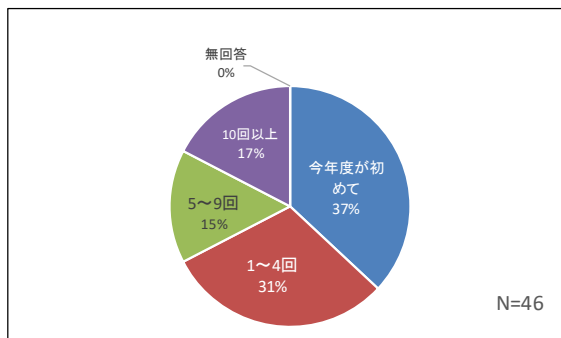
※その他・・・仕事と全く違う分野だから



問6. 昨年度までの受講回数（連携公開講座も含む）

【単位：人】

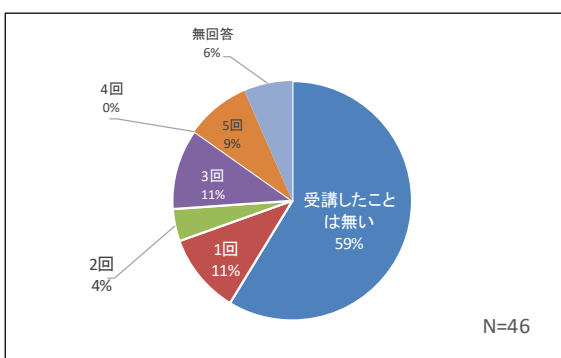
|         |    |
|---------|----|
| 今年度が初めて | 17 |
| 1～4回    | 14 |
| 5～9回    | 7  |
| 10回以上   | 8  |
| 無回答     | 0  |
| 合計      | 46 |



問7. 春季連携公開講座の受講回数

【単位：人】

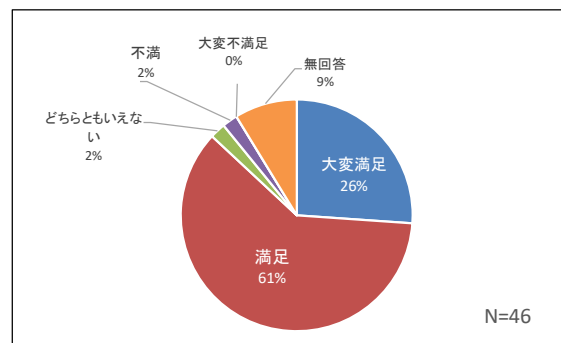
|           |    |
|-----------|----|
| 受講したことは無い | 27 |
| 1回        | 5  |
| 2回        | 2  |
| 3回        | 5  |
| 4回        | 0  |
| 5回        | 4  |
| 無回答       | 3  |
| 合計        | 46 |



問8. 今回講座の全体的な満足度

【単位：人】

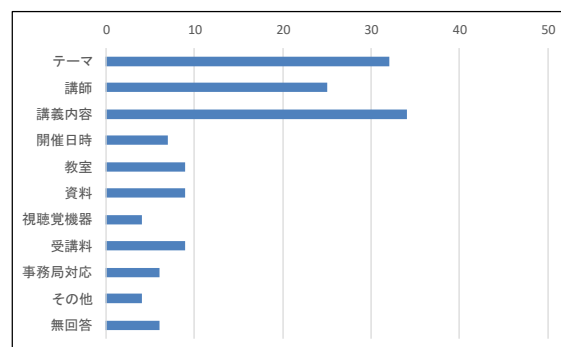
|           |    |
|-----------|----|
| 大変満足      | 12 |
| 満足        | 28 |
| どちらともいえない | 1  |
| 不満        | 1  |
| 大変不満足     | 0  |
| 無回答       | 4  |
| 合計        | 46 |



問9. 問8で「大変満足」「満足」と回答した方が評価する点（複数回答可）

【単位：人】

|       |    |
|-------|----|
| テーマ   | 32 |
| 講師    | 25 |
| 講義内容  | 34 |
| 開催日時  | 7  |
| 教室    | 9  |
| 資料    | 9  |
| 視聴覚機器 | 4  |
| 受講料   | 9  |
| 事務局対応 | 6  |
| その他   | 4  |
| 無回答   | 6  |



※その他・・・

ワライ配信はとても助かった。

なによりもワライ講義が可能であったこと。ありがたかったです、お世話になりました。

ワライで参加出来たこと

**問10. 問8で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」と回答した方が挙げた改善すべき点（複数回答可）**

※ 出席回数が少なく、判断できなかった。

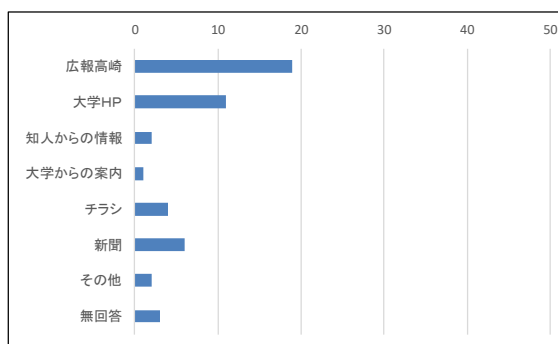
※ 講義内容によっては時間不足で「尻切れトンボ」になっているケースが多かった。講師の時間配分にもう少し配慮が欲しかった。

※ 講義がいまひとつ充実感に欠けた。講師のなかに余り一般向け講義に慣れていない人もいたのでは？

**問11. 本講座をお知りになったきっかけ（複数回答可）**

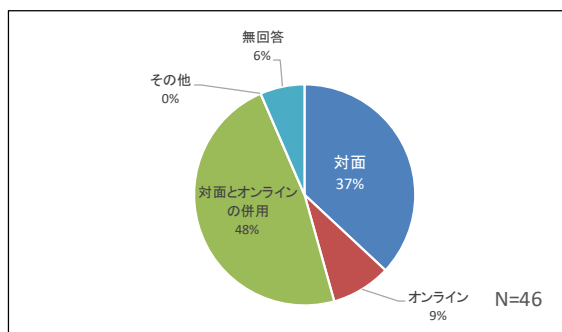
|         |    |
|---------|----|
| 広報高崎    | 19 |
| 大学HP    | 11 |
| 知人からの情報 | 2  |
| 大学からの案内 | 1  |
| チラシ     | 4  |
| 新聞      | 6  |
| その他     | 2  |
| 無回答     | 3  |

※その他・・・職場での案内 2名



**問12. 今後の公開講座に参加する場合、希望する受講スタイル**

|             |    |
|-------------|----|
| 対面          | 17 |
| オンライン       | 4  |
| 対面とオンラインの併用 | 22 |
| その他         | 0  |
| 無回答         | 3  |
| 合計          | 46 |



**問13. 今回初のオンデマンド（録画）配信の利用状況**

|           |    |
|-----------|----|
| 利用した      | 11 |
| 利用しなかった   | 27 |
| 配信を知らなかった | 4  |
| 無回答       | 4  |
| 合計        | 46 |

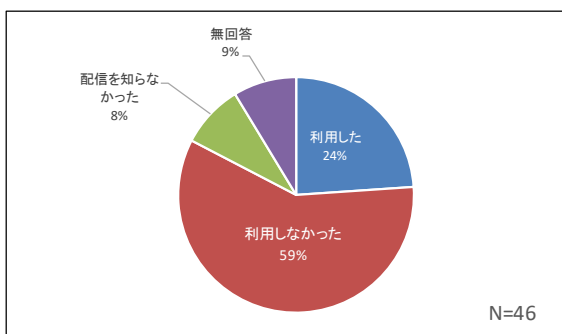
※利用した回数

1回・・・6名

2回・・・2名

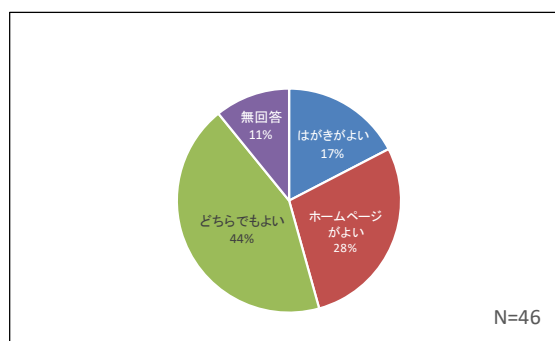
3回、4回・・・各1名

無回答・・・1名



## 問14. 広報高崎での公開講座の申込案内の方法について

|           |    |
|-----------|----|
| はがきがよい    | 8  |
| ホームページがよい | 13 |
| どちらでもよい   | 20 |
| 無回答       | 5  |
| 合計        | 46 |



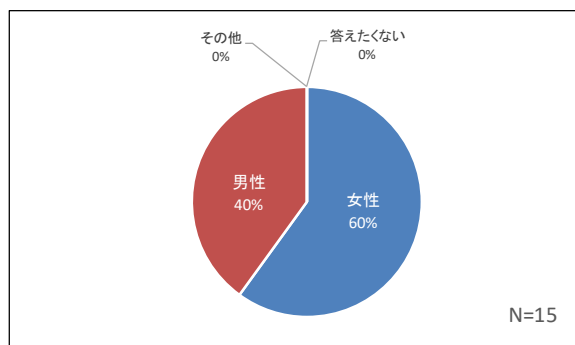
《第12回 地域めぐり（知っておきたい烏川流域の歴史と役割）》

○講座終了時にアンケート調査を実施。[有効回答数：15人（回収率：100%）]

問1. 性別

【単位：人】

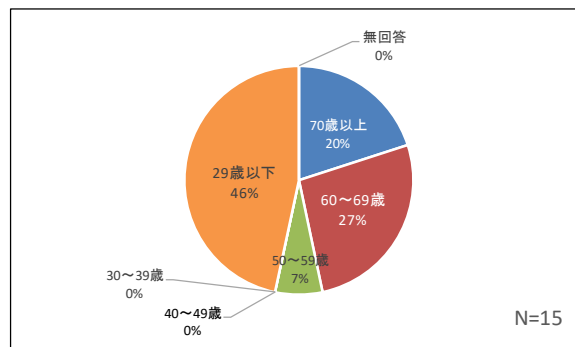
|        |    |
|--------|----|
| 女性     | 9  |
| 男性     | 6  |
| その他    | 0  |
| 答えたくない | 0  |
| 合計     | 15 |



年齢

【単位：人】

|        |    |
|--------|----|
| 70歳以上  | 3  |
| 60～69歳 | 4  |
| 50～59歳 | 1  |
| 40～49歳 | 0  |
| 30～39歳 | 0  |
| 29歳以下  | 7  |
| 無回答    | 0  |
| 合計     | 15 |

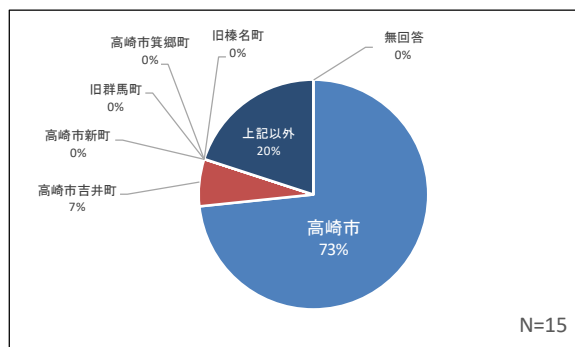


お住まい

【単位：人】

|        |    |
|--------|----|
| 高崎市    | 11 |
| 高崎市吉井町 | 1  |
| 高崎市新町  | 0  |
| 旧群馬町   | 0  |
| 高崎市箕郷町 | 0  |
| 旧榛名町   | 0  |
| 上記以外   | 3  |
| 無回答    | 0  |
| 合計     | 15 |

※ 上記以外・・・熊谷市、本庄市、太田市（各1名）

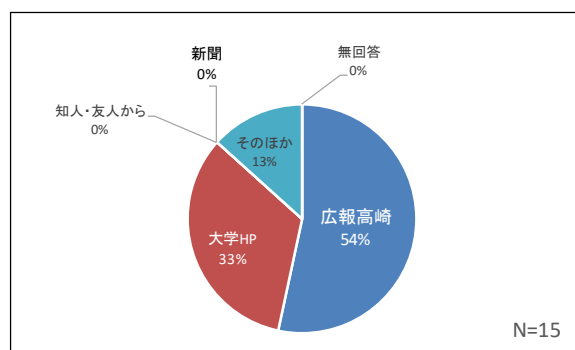


問2. 本企画を知ったきっかけ

【単位：人】

|         |    |
|---------|----|
| 広報高崎    | 8  |
| 大学HP    | 5  |
| 知人・友人から | 0  |
| 新聞      | 0  |
| そのほか    | 2  |
| 無回答     | 0  |
| 合計      | 15 |

※ そのほか・・・大学からのメール（2名）

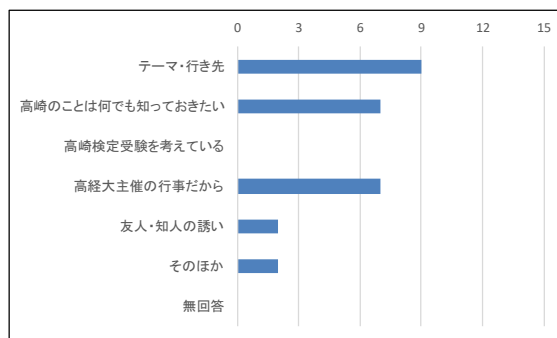


問3. 参加の動機（複数回答可）

【単位：人】

|                  |   |
|------------------|---|
| テーマ・行き先          | 9 |
| 高崎のことは何でも知っておきたい | 7 |
| 高崎検定受験を考えている     | 0 |
| 高経大主催の行事だから      | 7 |
| 友人・知人の誘い         | 2 |
| そのほか             | 2 |
| 無回答              | 0 |

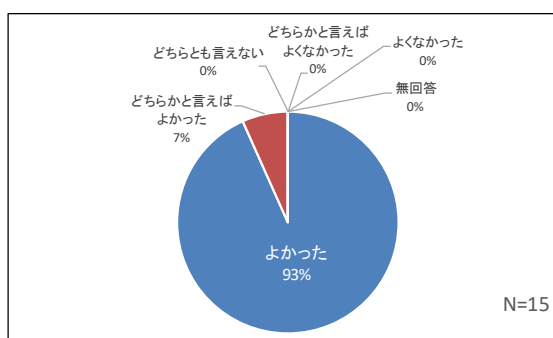
- ※ そのほか・・・
- ・高崎の地域についてもっと知りたいため
  - ・大学在学中に高崎のことについて知ってみたかったから



問4. 参加された感想

【単位：人】

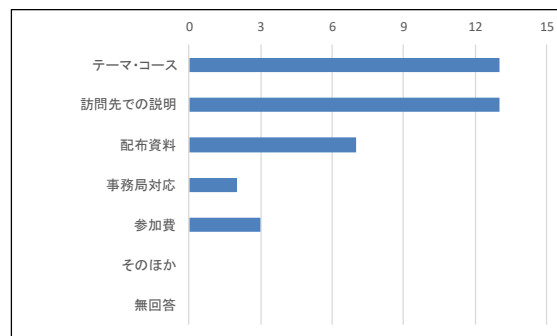
|                |    |
|----------------|----|
| よかった           | 14 |
| どちらかと言えばよかった   | 1  |
| どちらとも言えない      | 0  |
| どちらかと言えばよくなかった | 0  |
| よくなかった         | 0  |
| 無回答            | 0  |
| 合計             | 15 |



問5. 問4で「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答された方が評価する点（複数回答可）

【単位：人】

|         |    |
|---------|----|
| テーマ・コース | 13 |
| 訪問先での説明 | 13 |
| 配布資料    | 7  |
| 事務局対応   | 2  |
| 参加費     | 3  |
| そのほか    | 0  |
| 無回答     | 0  |



- ※ 小栗さんのことや横須賀市のはまゆう山荘は何となく知っていたが、全く深くは知らなかった。幾人かの人の話を聞いて少し考えるきっかけになった。
- 西野先生の話は、私にとってはとても良かった。群馬の梅のことも知らなかった。倉淵ダムのことは全く知らなかったのので、いろいろ考えることが出来た。
- ※ 倉淵に絞って普段個人では行くことのない所へ行けた。ランチも〇。倉淵は誇りです。道の駅に寄れたらお金を使えた。東善寺も少しじっくり聞きたかった。
- ※ 小栗上野介の歴史再確認しました。西野先生の資料、そして心温まるわかりやすい説明、そして佐藤さんや清水さん達のお話も先生はよく聞いていました。先生のお人柄がわかりました。学生さん達も幸せですね。
- ※ 東善寺
- ※ 今日のテーマを通じて高崎の農業の特徴について知る事ができ、教科書にはない小栗公の生涯と日本近代化のきっかけも理解しました。
- ※ 「小栗上野介」について全く知らなかったのですが、今回の地域めぐりで日本史の教科書に書かれていない、いわば「隠れた日本史」について教養を深められたからです。
- ※ 農業のことが少しわかったような気がした。農業を中心にしていましたが核心のことは今、日本にて少子化とか経済の落ち込みの際に際して、今後農業・林業含め都市をどうするのかということを考えなくては行けないと気付かされました。本当に有意義でした、ありがとうございました。



- 食事もおいしかった。梅の清水さんはものすごい実業家だと驚かされました。
- ※ 身近な高崎のことを知らないの、いろいろお話を聞くことができて大変勉強になりました。ありがとうございました。
  - ※ ・天気も良く、テーマも良く大変良かった。
    - ・明治維新の「正史」を確認できた。
    - ・日本の農業の課題とその解決法の一端を実地で確認でき大変有意義であった。
 ありがとうございました！
  - ※ 村上先生のお話が面白かったです。高校の日本史を取っていたこともあり、今日の話とつながるところがあって興味深い点が多くありました。海軍カレーおいしかったです。
  - ※ 説明をしてくれた方々が大変興味深いお話をしてくださったので、有意義な時間となりました。清水の梅がとても美味しくて、梅干しにハマりそうです。
  - ※ 梅干しがすごい美味しかった。景色が綺麗で良かった！お話がいつも大学で聴いているより、身近な人が話しているからより伝わった。
  - ※ 大学進学で高崎に来て、1年半以上たつので高崎のことは結構知っている！と思っていたが、知らないことや興味深い場所が多く、面白かった。

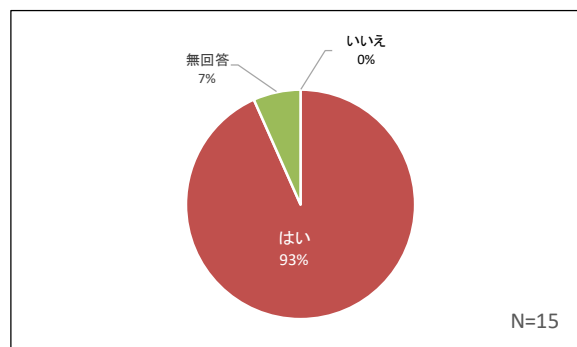
問6. 問4で「どちらかと言うとよくなかった」「よくなかった」とお答えいただいた方の理由

アンケート回答なし

問7. 地域めぐりにまた参加したいですか

【単位:人】

|     |    |
|-----|----|
| いいえ | 0  |
| はい  | 14 |
| 無回答 | 1  |
| 合計  | 15 |



どのようなテーマやコースの地域めぐりに参加したいですか。

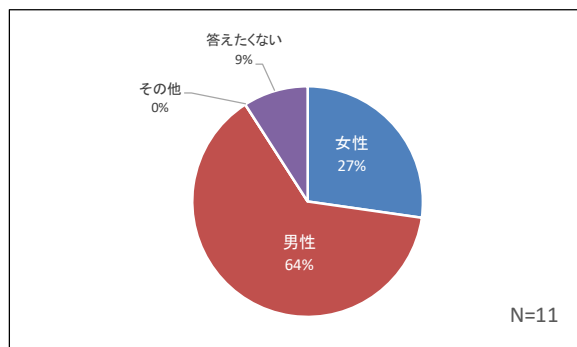
- ※ モーターゼッションの変化によって車社会になった。道について、道が出来ることにより、地域はがらりと変わると思う。例えば、10号線が繋がって私の家から車で県庁に15分ほどで行ける。幹線道路決定はどんな経過で出来るんだろうかと考えてしまう。
- ※ 名店・名産めぐり（老舗、会社、新企業）例：問屋町の文具店、漬物店、楽器店等々、小島鉄工や市場。
- ※ 烏川流域の歴史の役割の一部が理解出来ました。長野壱の歴史も興味があります。
- ※ 西毛の古墳・史蹟めぐり
- ※ 倉賀野の歴史。倉賀野町も元々町だっただけに「上町」「中町」「下町」といった区域に分けられており、地域めぐりしたら楽しそうだから。
- ※ 高崎市ならどこでも面白そうなのでどこでもいいです。
- ※ 高崎の伝統文化とかの体験。

《第13回 地域めぐり（高崎市のものづくり企業をめぐる）》

○講座終了時にアンケート調査を実施。[有効回答数：11人（回収率：100%）]

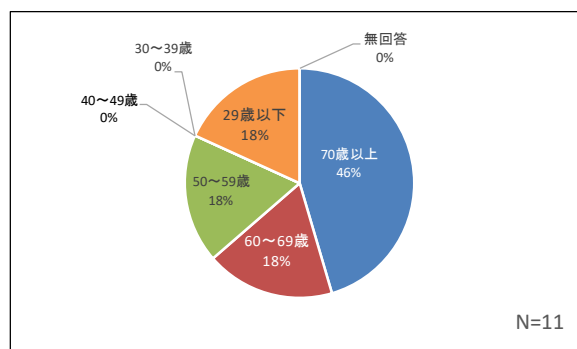
問1. 性別

| 【単位：人】 |    |
|--------|----|
| 女性     | 3  |
| 男性     | 7  |
| その他    | 0  |
| 答えたくない | 1  |
| 合計     | 11 |



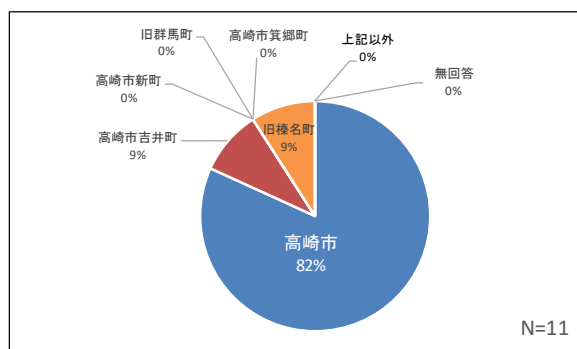
年齢

| 【単位：人】 |    |
|--------|----|
| 70歳以上  | 5  |
| 60～69歳 | 2  |
| 50～59歳 | 2  |
| 40～49歳 | 0  |
| 30～39歳 | 0  |
| 29歳以下  | 2  |
| 無回答    | 0  |
| 合計     | 11 |



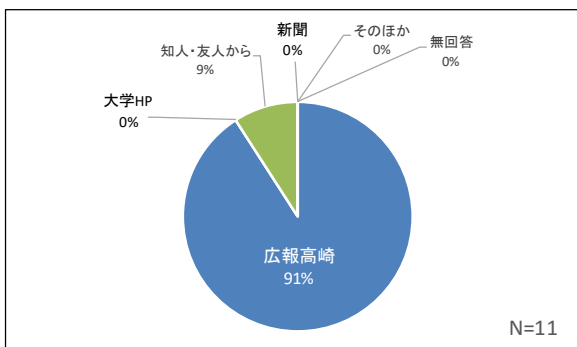
お住まい

| 【単位：人】 |    |
|--------|----|
| 高崎市    | 9  |
| 高崎市吉井町 | 1  |
| 高崎市新町  | 0  |
| 旧群馬町   | 0  |
| 高崎市箕郷町 | 0  |
| 旧榛名町   | 1  |
| 上記以外   | 0  |
| 無回答    | 0  |
| 合計     | 11 |



問2. 本企画を知ったきっかけ

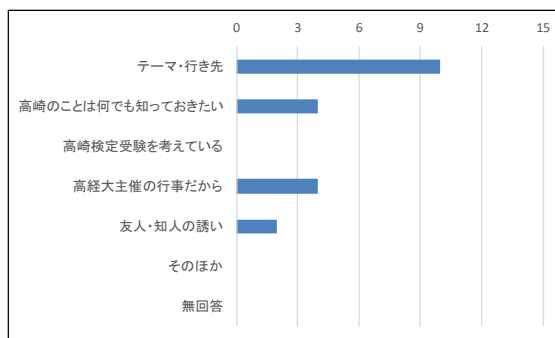
| 【単位：人】  |    |
|---------|----|
| 広報高崎    | 10 |
| 大学HP    | 0  |
| 知人・友人から | 1  |
| 新聞      | 0  |
| その他     | 0  |
| 無回答     | 0  |
| 合計      | 11 |



問3. 参加の動機（複数回答可）

【単位:人】

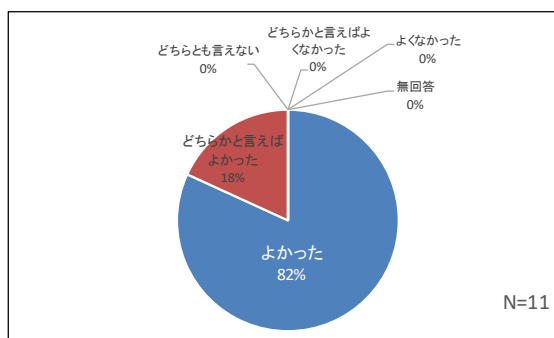
|                  |    |
|------------------|----|
| テーマ・行き先          | 10 |
| 高崎のことは何でも知っておきたい | 4  |
| 高崎検定受験を考えている     | 0  |
| 高経大主催の行事だから      | 4  |
| 友人・知人の誘い         | 2  |
| そのほか             | 0  |
| 無回答              | 0  |



問4. 参加された感想

【単位:人】

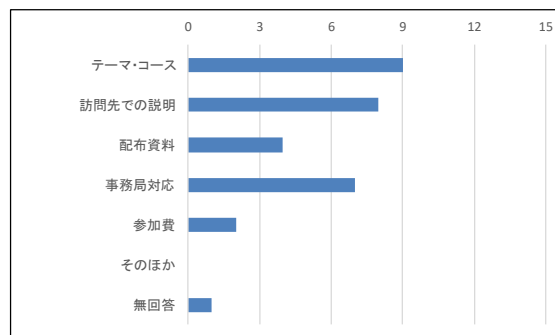
|                |    |
|----------------|----|
| よかった           | 9  |
| どちらかと言えばよかった   | 2  |
| どちらとも言えない      | 0  |
| どちらかと言えばよくなかった | 0  |
| よくなかった         | 0  |
| 無回答            | 0  |
| 合計             | 11 |



問5. 問4で「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答された方が評価する点（複数回答可）

【単位:人】

|         |   |
|---------|---|
| テーマ・コース | 9 |
| 訪問先での説明 | 8 |
| 配布資料    | 4 |
| 事務局対応   | 7 |
| 参加費     | 2 |
| そのほか    | 0 |
| 無回答     | 1 |



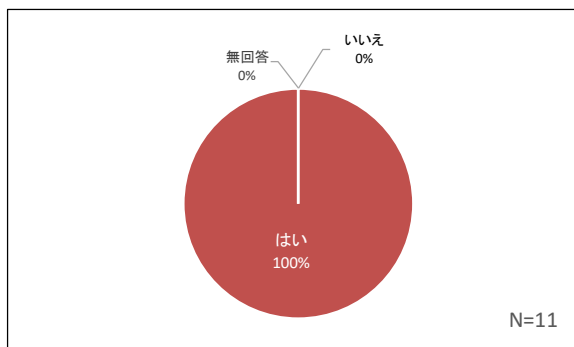
- ※ 個人では行けない場所に行けた。名前は知るも何をしているか知らずにいた。大いに誇れる企業をもっと大勢に知らしめて欲しい。
- ※ 仕事の取引とは無関係な形で、企業の活動を見聞きできる点が良い。
- ※ 訪問致しました3社の強みを直に感じる事ができました。全て素晴らしい企業様でした。
- ※ 知らない世界を知りました。まだまだ知りたいです。ものづくりは今度生まれ変わったらぜひやってみたい世界です。
- ※ 各企業の方がとても熱心にわかりやすく説明してくれました。現場を実際に見ることができて良かったです。
- ※ 訪問先での説明は熱量が伝わり大変良かったです。
- ※ 初めての参加でした。だいたい予想した感じでした。3社とも異業種だったのは良かった。
- ※ テーマも良かったし、訪問先での説明も面白かった。やはり現場をみるのが一番ですね。高崎も大したものです。
- ※ 普段見られない現場を説明付きで見られ本当に良かったと思います。

問6. 問4で「どちらかと言うとよくなかった」「よくなかった」と  
お答えいただいた方の理由

※ 若干、説明にダラダラ感があつた。

問7. 地域めぐりにまた参加したいですか

| 【単位：人】 |    |
|--------|----|
| いいえ    | 0  |
| はい     | 11 |
| 無回答    | 0  |
| 合計     | 11 |



どのようなテーマやコースの地域めぐりに参加したいですか。

- ※ 問屋町の今。当初と時代と共に有様も変化、どう生き抜き将来の展望も。
- ※ ハーゲンダッツ工場を見たいです。
- ※ 企業見学型。
- ※ 芸術的（含む食品）ものづくり企業/個人/団体等。例えばだるま/焼きまんじゅう/ラスク/美術館/芸術劇場。
- ※ 製造の現場が良いです。
- ※ 地元の誇れる企業についてもっと知りたいと思いました。  
今日のお昼のように食に関するテーマも参加してみたいです。ありがとうございました。
- ※ 事務局の方も親切な対応で、是非参加したいと思います。

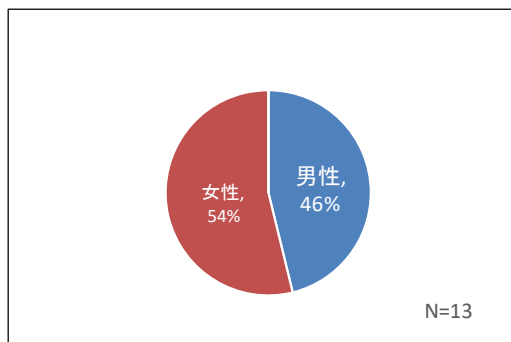
《第13回 地元学講座（ケルナー広場を中心とした子育て支援について）》

○講座終了時にアンケート調査を実施。[有効回答数：11人（回収率：100%）]

問1. 性別

【単位：人】

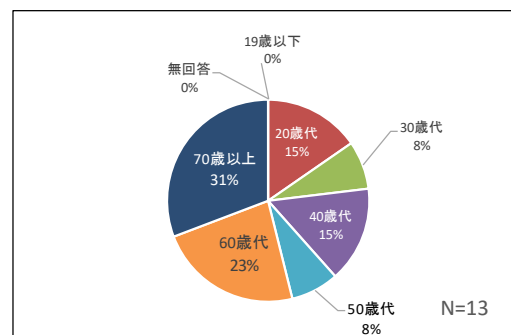
|        |    |
|--------|----|
| 男性     | 6  |
| 女性     | 7  |
| その他    | 0  |
| 答えたくない | 0  |
| 合計     | 13 |



問2. 年齢

【単位：人】

|       |    |
|-------|----|
| 19歳以下 | 0  |
| 20歳代  | 2  |
| 30歳代  | 1  |
| 40歳代  | 2  |
| 50歳代  | 1  |
| 60歳代  | 3  |
| 70歳以上 | 4  |
| 無回答   | 0  |
| 合計    | 13 |

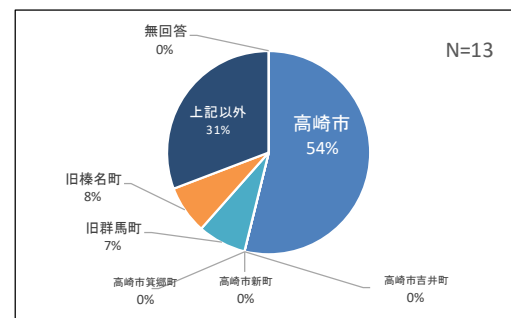


問3. お住まいの地域

【単位：人】

|        |    |
|--------|----|
| 高崎市    | 7  |
| 高崎市吉井町 | 0  |
| 高崎市新町  | 0  |
| 高崎市箕郷町 | 0  |
| 旧群馬町   | 1  |
| 旧榛名町   | 1  |
| 上記以外   | 4  |
| 無回答    | 0  |
| 合計     | 13 |

※上記以外  
安中市 2名、前橋市 2名、さいたま市 1名

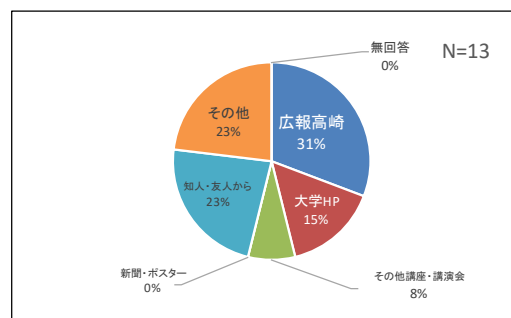


問4. 本講座を知ったきっかけ

【単位：人】

|           |    |
|-----------|----|
| 広報高崎      | 4  |
| 大学HP      | 2  |
| その他講座・講演会 | 1  |
| 新聞・ポスター   | 0  |
| 知人・友人から   | 3  |
| その他       | 3  |
| 無回答       | 0  |
| 合計        | 13 |

※その他  
・時をつむぐ会SNS  
・大学からのメール  
・公開講座



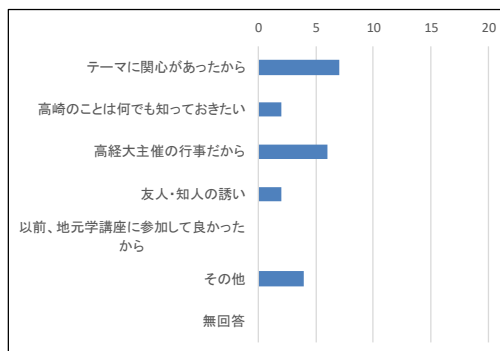
問5. 受講の動機（複数回答可）

【単位:人】

|                     |   |
|---------------------|---|
| テーマに関心があったから        | 7 |
| 高崎のことは何でも知っておきたい    | 2 |
| 高経大主催の行事だから         | 6 |
| 友人・知人の誘い            | 2 |
| 以前、地元学講座に参加して良かったから | 0 |
| その他                 | 4 |
| 無回答                 | 0 |

※その他

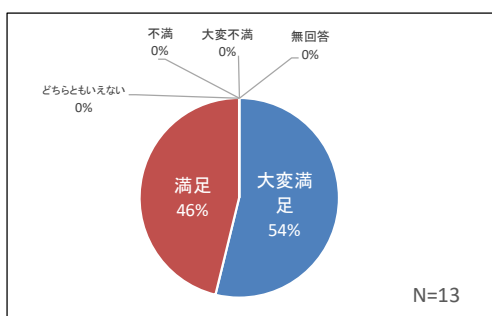
- ・ケルナー広場に興味があったから（2名）
- ・ケルナー広場や子育て支援について聞きたかったから
- ・この講座をぜひ聞きたいと思ったから



問6. 満足度

【単位:人】

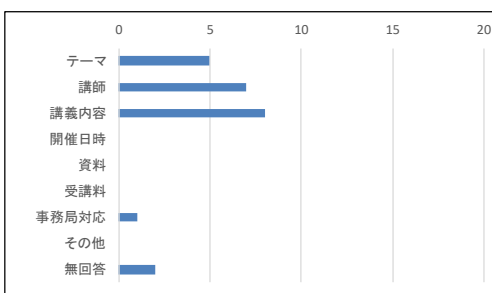
|           |    |
|-----------|----|
| 大変満足      | 7  |
| 満足        | 6  |
| どちらともいえない | 0  |
| 不満        | 0  |
| 大変不満      | 0  |
| 無回答       | 0  |
| 合計        | 13 |



問7. 問6で「大変満足」「満足」とお答えいただいた方の評価する点（複数回答可）

【単位:人】

|       |   |
|-------|---|
| テーマ   | 5 |
| 講師    | 7 |
| 講義内容  | 8 |
| 開催日時  | 0 |
| 資料    | 0 |
| 受講料   | 0 |
| 事務局対応 | 1 |
| その他   | 0 |
| 無回答   | 2 |



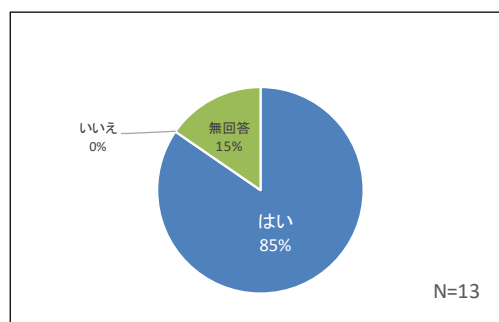
- ※ ケルナー広場は自然があふれていて、以前は当たり前にあった事・物が意図的に支援していかなければならない時代、このような活動が広がっていく事に取り組んでいる「時をつむぐ会」の活動は素晴らしいと思いました。自然の中であそぶ親子の姿がいいですね。
- ※ ケルナーさんの遊具の大切さや良さをあらためて感じ、多くの子育てに伝わると良いなと感じます。今、困る親子にもっともっと知って欲しいと思いました。
- ※ よりよい地域のために大変必要なことと思った。
- ※ 子育て支援の内容と課題を知ることができた。
- ※ とてもよかった。映像も良かった。
- ※ すべて良い。
- ※ 施工映像を観ることができた。
- ※ ケルナー広場応援しています！！頑張ってください。
- ※ ケルナー広場は時々利用させて頂いております。孫達と一緒に。ケガ無くチャレンジ精神を大切にしたい遊具なのだとの説明講義が有意義でした。
- ※ ケルナーさんの考え方やいきいきした子ども達の映像に共感しました。また、遊具の設置にあたって「危ない」との言い争いとのことで、私達のような子育て世代ではない年代にも、理解が広まる必要があると思ったので知れてよかったと思いました。

問8. 問6で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」とお答えいただいた方の理由

※ 回答なし

問9 地元学にまた参加したいか

| 【単位:人】 |    |
|--------|----|
| はい     | 11 |
| いいえ    | 0  |
| 無回答    | 2  |
| 合計     | 13 |



問10 取り上げてほしい高崎市の歴史・民俗、現状の問題・課題等、また事務局への要望、お気づきの点など

- ※ 個人では気づかない事柄に注目した内容がよかった。
- ※ ケルナー広場続編、子育て環境。
- ※ 地域政策とは・・・何か分かりません。

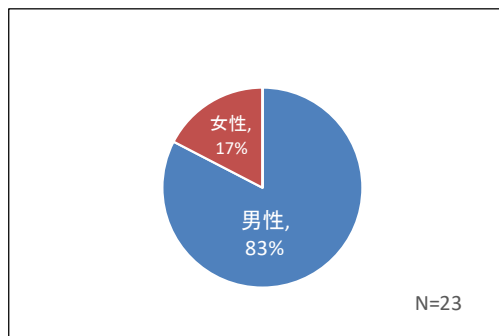
《第14回 地元学講座（音楽のある街高崎—音楽・文化によるまちづくり—）》

○講座終了時にアンケート調査を実施。[有効回答数：23人（回収率：85.19%）]

問1. 性別

【単位：人】

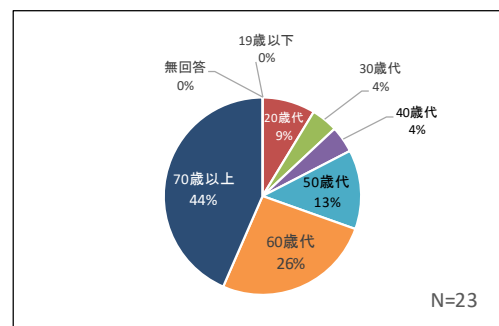
|        |    |
|--------|----|
| 男性     | 19 |
| 女性     | 4  |
| その他    | 0  |
| 答えたくない | 0  |
| 合計     | 23 |



問2. 年齢

【単位：人】

|       |    |
|-------|----|
| 19歳以下 | 0  |
| 20歳代  | 2  |
| 30歳代  | 1  |
| 40歳代  | 1  |
| 50歳代  | 3  |
| 60歳代  | 6  |
| 70歳以上 | 10 |
| 無回答   | 0  |
| 合計    | 23 |

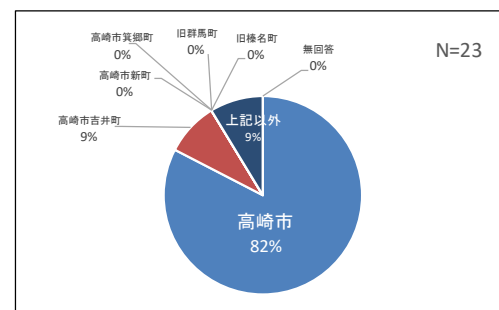


問3. お住まいの地域

【単位：人】

|        |    |
|--------|----|
| 高崎市    | 19 |
| 高崎市吉井町 | 2  |
| 高崎市新町  | 0  |
| 高崎市箕郷町 | 0  |
| 旧群馬町   | 0  |
| 旧榛名町   | 0  |
| 上記以外   | 2  |
| 無回答    | 0  |
| 合計     | 23 |

※上記以外  
 渋川市、前橋市が各1名

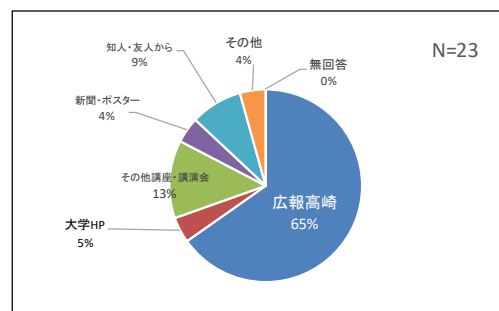


問4. 本講座を知ったきっかけ

【単位：人】

|           |    |
|-----------|----|
| 広報高崎      | 15 |
| 大学HP      | 1  |
| その他講座・講演会 | 3  |
| 新聞・ポスター   | 1  |
| 知人・友人から   | 2  |
| その他       | 1  |
| 無回答       | 0  |
| 合計        | 23 |

※その他  
 ・文書で連絡いただきました。ありがとうございました。  
 ・公開講座でのチラシ





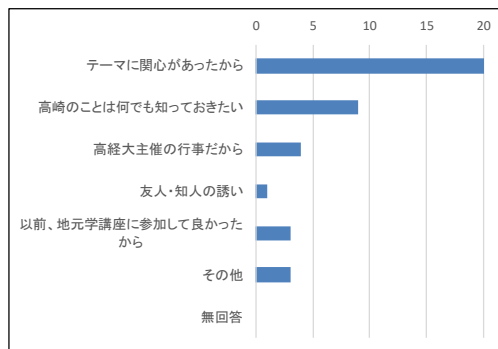
問5. 受講の動機（複数回答可）

【単位：人】

|                     |    |
|---------------------|----|
| テーマに関心があったから        | 21 |
| 高崎のことは何でも知っておきたい    | 9  |
| 高経大主催の行事だから         | 4  |
| 友人・知人の誘い            | 1  |
| 以前、地元学講座に参加して良かったから | 3  |
| その他                 | 3  |
| 無回答                 | 0  |

※その他

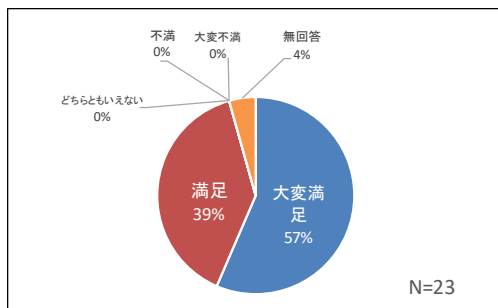
- ・卒業論文で「音楽のある街高崎」について書こうと考えているので、中森さんのお話を是非お聞きし、論文の参考にしたいと思ったため。
- ・音楽のある街に興味がある。



問6. 満足度

【単位：人】

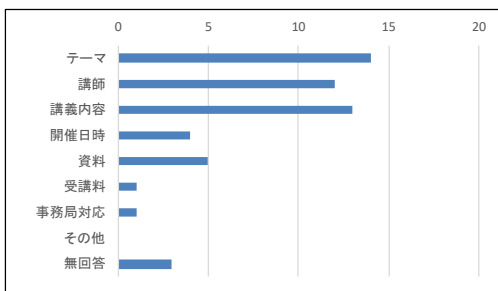
|           |    |
|-----------|----|
| 大変満足      | 13 |
| 満足        | 9  |
| どちらともいえない | 0  |
| 不満        | 0  |
| 大変不満      | 0  |
| 無回答       | 1  |
| 合計        | 23 |



問7. 問6で「大変満足」「満足」とお答えいただいた方の評価する点（複数回答可）

【単位：人】

|       |    |
|-------|----|
| テーマ   | 14 |
| 講師    | 12 |
| 講義内容  | 13 |
| 開催日時  | 4  |
| 資料    | 5  |
| 受講料   | 1  |
| 事務局対応 | 1  |
| その他   | 0  |
| 無回答   | 3  |



- ※ 音楽鑑賞が子供の頃からの趣味。地域の音楽文化について関心がある。
- ※ 友輩氏、地元学講座に取り上げありがとうございます。創造、発信を貴いて下さい。
- ※ 知らないことを知れたので。
- ※ 自身の活動について詳しくお話いただき、高崎の音楽の歴史もわかりました。
- ※ 大変興味のある内容を聞きました。内容的によく聞き取れないところもあったので、ほんの少しですが納得して理解できない所もありました。重要な話だったので、90%ではなく100%理解したいと思いましたので。
- ※ ありがとうございます。私が今、考えていることにピッタリのタイトルでした。
- ※ 最近、私も群響・ピアノ・第九のコンサートなど行く機会が多くなりました。それぞれ素晴らしいコンサートでした。音楽のある街高崎に住むことができ良かったと思います。続けてほしいと思います。
- ※ 群響70周年記念・記録映画は観たい！高崎の存在感を感じられました。音楽を通じての交流、群馬文化の発信、今後も期待します。
- ※ 高崎の音楽の歴史を詳細に説明してもらえて有難かった。
- ※ ブラハの春での群響の演奏の裏話が面白かったです。
- ※ 予想していたよりも、とても歴史的に勉強になった事。
- ※ 講義内容が大変興味深いものだった。知らないことだらけだったし再認識したのもあった。
- ※ 音楽の歴史がなんとなく分かりました。
- ※ 講師の先生の思いが良く伝わりました。
- ※ 音楽を通して、地域の活性化が図られている点。
- ※ 高崎と音楽の関わりが良くわかった。

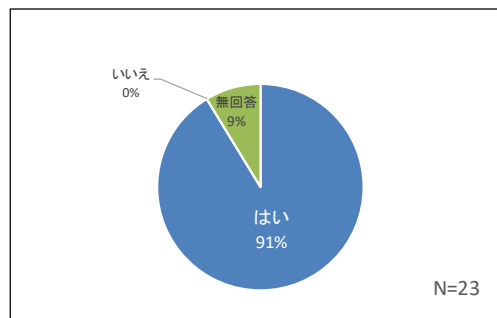
問8. 問6で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」とお答えいただいた方の理由

- ※ 資料の写真が小さすぎて内容がよく分からなかった。
- ※ マイク音声が聞きづらかった。
- ※ 経大の理事長が居眠りしていたのは残念。せっかくご学友が講演しているのに・・・。
- ※ 駐車場がほぼ満車。
- ※ 会場が寒かった。

問9 地元学にまた参加したいか

| 【単位:人】 |    |
|--------|----|
| はい     | 21 |
| いいえ    | 0  |
| 無回答    | 2  |
| 合計     | 23 |

※興味をひくテーマの時



問10 取り上げてほしい高崎市の歴史・民俗、現状の問題・課題等、また事務局への要望、お気づきの点など

- ※ 空き家問題、農業政策について、少子高齢化。
- ※ 人口増減、子どもの共育について。
- ※ 今度は「映画のある街高崎」をやっていただきたいです。
- ※ 高経卒業生です。倉賀野在住50年超え、倉賀野宿（中山道）盛り上げようと思っています。  
倉賀野には地域研究会があります。古民家再生事業3件目の町です。倉賀野は江戸時代には宿と河岸で栄えました。
- ※ 高崎の街づくり、街の発展の歴史、建造・建築物・土木遺産等。
- ※ 参加しやすいので、平日ではなく、土曜や日曜日に実施してもらいたい。
- ※ 高崎での絹産業・絹文化の歴史について。例えば、富岡製糸場をはじめとする絹遺産との関りなど。
- ※ モダニズム建築や井上房一郎。

### 地域科学研究所動静

- ・ブックレット第8号『高崎の紅板締め染—戦前高崎の染色業—』, 第9号『<食>で高崎のまちを元気にする—地域振興とブランドづくりへの挑戦—』を発行しました。近日中に, 本学ホームページで公開するとともに, 市役所1階及び本学図書館にて, 無償配布をする予定です。
- ・地域科学研究所紀要「産業研究」第58巻第2号を発行しました。今号では, 論文3本, 研究ノート1本, 資料1点, 書評を掲載しました。本学ホームページ(リポジトリ)よりご覧いただけます。

### 編集後記

今年度は, 山あり谷あり, 怒涛の1年間, 特に後半の6カ月は, 新型コロナウイルス感染症にかかると事業の運営ができなくなる危機的状況の中で, 常に気を張って心と体の健康を維持し, 忙しくもクオリティを落とさず, 事業の参加者いかに満足して頂けるかを常に考えて取り組み, 無事に乗り切るだけでなく, 参加者からも高い評価を頂くことができました。

世界が様々に変化の中で, グローバルの中のローカル, 地域のあり方を考えていけるような機会を今後は提供することを目指し取り組んでいきたいと思います。(ST)

高崎経済大学地域科学研究所

ニュースレター No.20

発行 2023年3月31日

群馬県高崎市上並榎町 1300(〒370-0801)

TEL(027)344-6267 FAX(027)343-7103

E-mail : chiikikagaku@tcue.ac.jp

©TIRS